

スキー教室 作文紹介③

「 スキー教室を振り返って 」

C組

私は、スキー教室で学んだことが2つあります。1つ目は失敗を恐れないことです。私は高い所が苦手で転びたくないと思っていました。でも滑ってみると転ぶのが怖いという思いはほぼなくなりました。自信をもって滑れば失敗も少なかったし、なによりすごく楽しくスキーをすることができました。最初は急斜面を滑るとスピードがすごく出るのが怖かったけど最終日には楽しい、もっと滑りたいという気持ちの方が強かったことを覚えています。

2つ目は時間を意識して生活することの大切さです。いつもとは違い、先生などの呼びかけの少ない中、自分たちだけで時間や宿舎の構造を覚えるのが初日はとても難しくて自分から行動するのが少し怖かったけど班員や係同士で声をかけ合ったり、協力してすごしたりするようになってから、私は自分から「10分前だよ、そろそろ行動しよう」など呼びかけをすることができるようになりました。時間を間違えたり遅れてしまったりしたせいで、前から準備してきたものを台無しにしてしまわないためには時間を意識して自分がやるべきことをしっかりと理解すること大切なのかなとこのスキー教室で思いました。

3日間、いつもと違う生活をして私はいろいろなことを学ぶことができました。ずっと前から準備してくれた実行委員、班をまとめてくれた班長全員が自分の役割を意識することで今回のスキー教室はとても良いものになったのだと思います。今回学んだことを学校生活に生かしたいです。



「 実行委員長としての自覚 」

C組

僕はこの青学年が協力して仲を深めルールやマナーを公共の場で守っていけるような学年にしていきたいと実行委員になりました。

しかし、そんな甘い考えでスキー教室を迎えることができませんでした。ほぼ毎日係を含めて居残りがあり、苦勞の絶えない日々を送っていました。でも僕の目指す青学年を築上げていくには、その苦勞もあまり負担ではありませんでした。そして不安の中で当日を迎えていきました。

スキー移動教室 2 日目、事態は急変します。2 日目のスキー移動教室実行委員会では、「もっと危機感をもちなさい」と言われました。3 日目の朝食でも僕が臨時でしゃべることになりました。昨日の大広間での件をふまえて僕の目指す青学年はこのような学年だったのだろうかと自分を責めていたときもありました。そんな中、ついに最終日が訪れました。「ルールやマナーを意識しよう。」これを守っていけばいい学年になる。しかし、3 日目の実習中に班でもめ事が起きてしまい、スキー教室の目的の一つが崩落しました。ですが、短時間で終わりました。レクの結果が A B C D と同点という奇跡もありました。

スキー教室はとても楽しかったです。しかし、楽しく過ごすことはいいと思いますが、インストラクター、宿の人、看護師、先生方、実行委員、室長、保健美化、食事、入浴、レク…これらの土台ができて、この青学年のスキー移動教室が成り立っていることを忘れず僕は実行委員長として自覚をもつことができました。係の仕事もでき、最高の青学年にできたと思います。

